



めがね産地での圧倒的トップシェアの技術と実績をベースに、様々なご要望にお応えします。情報家電や自動車部品関連、ナノテクノロジーなど様々な分野でのめっき加工にご奉仕します。

PVD（物理蒸着）

チタン合金による表面コーティング。アーク放電型イオンプレーティング、マグネトロンスパッタリング、イオンガススパッタリングの3種類の設備を保有しており、耐磨耗性皮膜や合金皮膜を容易に加工することができます。加工品は球状から長尺物まで可能で、貴金属や電気を通さないものにも加工出来ます。

■特徴

密着性に優れ、硬質膜の生成が可能であり、擦り傷や磨耗剥がれが発生しにくい、また耐食性、耐候性に優れた成膜ができます。



アーク放電型イオンプレーティング

高真空状態の装置（チャンバー）の中でチタンなどの金属を電子ビームなどで加熱蒸発させてイオン化させます。この際同時に反応ガス（窒素ガス、アセチレンガス）を注入し、加工品に負（-）の電圧をかける事により、チタン合金の硬質皮膜を形成させます。

■事例・実績

眼鏡フレーム・球体・デジタル家電のボディ部
ゴルフクラブシャフト部



マグネトロンスパッタリング

アーク放電型イオンプレーティングと違い過熱蒸発させない為、異種金属があわさったターゲットが使用出来ます。



イオンガススパッタリング

アーク放電型イオン方式の特徴に加え、一度に大量の加工品または比較的大型の加工品に処理することが可能です。

電着塗装

アクリル系樹脂をエマルジョン化した液体に素材を漬けて通電することにより塗膜を形成する方法で、複雑な形状の物にでも均一な膜厚を得られます。また、下地めっきとの組み合わせで色調の幅も広がります。

■特徴

設定条件により均一な塗膜を生成することが出来、色バラツキが少なく、形状の複雑な被塗物の商品も色付け可能です。



■事例・実績

眼鏡フレーム・スピーカーネット・デジタル家電のボディ部

電気めっき

電気めっきは電氣的に金属皮膜を与えるものですので、素材に導電性が必要になります。プラスチック等の絶縁体には、通常めっき加工は出来ません。

当社では、従来困難と言われてきたチタン系材料にもめっきする事が可能になり、さらにマスキング技術との併用で多色化も可能になりました。

■特徴

貴金属メッキ特有の質感や光沢感があり、耐食性・耐候性・防食性に優れておりゴールド・シルバー・グレーが加工可能です。



■事例・実績

配線端子・眼鏡フレーム

スプレー塗装

溶剤塗装は、霧吹き等の原理を利用したもので、圧縮空気によりシンナーで希釈した塗料を霧状にして品物に吹き付ける、最も一般的な方法です。

■特徴

色の配合により多彩なカラーバリエーションが可能であり、表現のバリエーションとして、「ツヤの割合」「ゴム感の塗装（艶消し）」「メッキとのコントラスト差による多色化」「パール調・メタリック調の微細な反射物質片を調合した外観」などがあります。さらに各種機能性塗料を備え、キズに強い・汚れの付きにくいコートを提供します。



■事例・実績

眼鏡フレーム

その他

■白金処理

白金処理は、イオン整水器等に用いられる電極板にプラチナめっき処理をするもので、当社が得意とするTiダイレクトめっきを応用した技術です。品質保証部門での長期の電解試験データにより、安定した電解特性が裏付けされています。

■陽極酸化

Ti表面に透明の酸化皮膜を生成→酸化膜表面での反射光とTi面での反射光が干渉し合い、酸化膜の厚さに応じた特定の波長が消滅します。目には消滅した波長の補色が見えることとなり深みのある膜を提供します。



■事例・実績

釣具部品 アクセサリー